

令和4年度 英語科 授業改善推進プラン

大田区立大森第七中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・全学年で長期休業期間明けにテストを実施し、語彙力を高め、文法の確認をすることができた。
- ・スピーチや英作文の発表を通し、学習した文型や語彙を使って話したり、書いたりして表現する中で、まとまった英語で表現する力をつけることができた。
- ・ALTとの1対1のインタビューテストへの対策を通して、英語で意欲的にコミュニケーションを取ろうとする姿勢を養うことができた。

(2) 課題

- ・「書くこと」について英語で表現しようとする姿勢を身につけさせることができたが、今後は正確に表現すること

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和4年度結果		令和3年度結果		令和2年度結果	
第1学年	全体	△	全体	△	/	
	基礎	△	基礎	△		
	活用（思考・判断）	△	活用（思考・判断）	△		
	活用（表現力）	△	活用（表現力）	△		
第2学年	全体	△	全体	△	全体	△
	基礎	△	基礎	△	基礎	△
	活用（思考・判断）	△	活用（思考・判断）	△	活用（思考・判断）	△
	活用（表現力）	△	活用（表現力）	△	活用（表現力）	△
第3学年	全体	△	全体	△	全体	△
	基礎	△	基礎	△	基礎	△
	活用（思考・判断）	△	活用（思考・判断）	△	活用（思考・判断）	△
	活用（表現力）	△	活用（表現力）	△	活用（表現力）	△

(2) 分析（観点別）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1・2・3学年とも目標正答率は上回っている。		

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
正確に文法項目を理解できるように、繰り返し音読活動を行う。	自己、他己、事物の簡単な紹介文などを、簡単な表現を用いて正確に表現できるように見ていく。	ペアワーク（対話活動）などの活動の中で振り返りを実施する。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
繰り返し書かせたり音読させたりすることで定着を図る。	自分の考えを自分の知っている言葉、文法を使って表現できるようサポートする。	色々なアプローチで英語の楽しさをアピールする。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
音読を徹底して行う。また、小テストや単元テストで文法の定着を図る。	考えや気持ちを英語で表現できるように、継続的に英語で話すことや英作文に取り組む。	単元毎に、自分が理解できたことや活用できたことなどを振り返る。

